

公立大学法人神戸市看護大学 2020年度 年度計画の概要

2020年度 重点事業

- 時代や社会ニーズの変化に対応し、2040年問題を見据えたカリキュラム改正に向けた準備を進める。
- 阪神・淡路大震災などの経験・教訓及び新たな疾病等の健康危機への対応をもとに、災害看護における教育・研究・実践の拠点形成に向けた検討を開始する。
- 神戸市等の抱える保健医療福祉に関する諸課題に対応できる地域連携・国際交流・生涯教育に関するセンターなどの組織の検討を行う。
- 新たな看護学に関する生涯教育の体系化を検討し、地域の看護職者の資質の向上と定着に貢献する。
- 留学生の受け入れ方針を策定するとともに、招聘した外国人教員や短期留学生との交流を通じ、国際交流を推進する。
- 事務局の広報体制を見直し、教育研究活動、地域貢献などの大学における取組みに関する情報発信を積極的に進める。

第2 社会的ニーズに対応した幅広く高い能力を持つ、看護人材の育成のための取組み

1. 入学者選抜及び学部教育

◎優秀な学生の確保

- ・共通テストの動向に注視しつつ、学部入試、編入学入試のあり方を検討
- ・広報事務、入試事務の一元化による入試データをもとにした効果的な情報発信

◎教育方法・内容

- ・2040年問題を見据え、2022年度から改正される新カリキュラム変更を検討
- ・災害教育の充実のほか、災害や新たな疾病等の健康危機に備え、災害看護における教育研究、実践について専門家の導入など拠点形成の検討
- ・語学教育の充実のためグローバルなコミュニケーション能力を高める方策の検討
- ・ICTやデータを活用した医療・予防を学ぶ「看護情報学」の導入検討
- ・市民病院群、実習施設等の看護職、地域住民の協力による講義・演習の継続

2. 大学院教育

◎優秀な学生の確保

- ・適正な入学定員や受験生確保策や留学生など多様な学生の受け入れの検討
- ・研究助成など成績優秀者へのインセンティブ方策による学生確保策の調査検討

◎教育方法・内容

- ・演習・臨地実習の強化、専門学会への参加、学外講師による特別講演会の開催
- ・定期的な博士論文進捗状況報告会、研究計画書発表会等の開催
- ・英語の専任教員による院生のニーズに即した国際学会発表・英語論文作成支援
- ・国際学会発表・参加奨励制度の実施
- ・Web授業システムの検討を進め、具体的な計画を策定

3. 学生への支援

◎全学的な学修支援体制の整備

- ・実習病院等と連携し、グループダイナミクスを活用した学びの方法を実施
- ・学生自治会との意見交換による学生のニーズに沿った学習環境を整備

◎特別な配慮を要する学生への学修支援の強化

- ・教職員を対象としたFD研修会の実施
- ・再履修学生に対する個々の状況に応じた支援体制の充実

◎生活面、健康面及び経済面の支援

- ・保健室、心理カウンセラー、学生委員会、担任・指導教員の連携、情報共有による支援
- ・他大学の設置状況を踏まえた学生支援基金の可能性の検討
- ・高等教育の修学支援新制度による支援及び対象外学生への経済的支援の継続

◎就職・キャリア支援

- ・学生ニーズに沿った国家試験対策の検討
- ・卒業生との情報交換の機会設置、個別面談の実施、同窓会との連携
- ・市内就職促進に向けた他都市調査及び神戸市民病院機構との連絡調整
- ・シミュレーションルームの機器及び環境の整備
- ・同窓会と連携した卒業生・修了生への実態調査によりキャリア開発支援ニーズを分析し、研修プログラムを検討

第3 学術研究、地域貢献活動、国際交流の推進等による、大学ブランドの確立

1. 地域課題の解決や健康創造都市戦略等を担う、学術研究の推進

◎神戸市と地域に貢献する研究の推進

- ・市との情報交換を通じ、市の政策、保健医療福祉に関する諸課題について、研究上での連携を推進
- ・市との連携による共同研究費を優先的に提供する仕組みの検討
- ・民間企業等との連携による国の科学研究費獲得に向けた検討
- ・地域課題への対応をテーマとした地方創生のための交付金への申請

◎研究活動支援のための支援

- ・競争的資金獲得の推進に向けた関連情報の提供による支援
- ・英文による学術論文投稿に対する支援システムの構築
- ・ランチョンセミナー開催等による教員間の研究交流

◎研究倫理の確保

- ・不正防止に向けたコンプライアンス研修の実施
- ・新たに導入した実践報告の倫理審査方法、倫理審査基準、倫理審査指針の徹底

◎研究成果の発信

- ・紀要編集における適切なアドバイス、査読後の論文修正をサポート
- ・新たな電子版紀要の着実な編集・発行
- ・リポジトリへのアクセス、教員の研究成果の発信の改善

2. 市民との連携・交流による、地域の保健医療への貢献の推進

◎地域と連携した教育研究活動等

- ・神戸市における地域包括支援センターの実情調査による地域と大学の連携の可能性の検討
- ・訪問看護教育ステーション等との連携による教育研究拠点となりうる体制の検討
- ・学修成果につなげるため、学生、教員、教育ボランティアの連携を強化

◎市民との交流促進

- ・まちの保健室等で地域住民の健康データを蓄積し、地域の健康ニーズに応じた健康教育、健康支援活動を実施、測定データを住民のセルフケアの充実に活用
- ・図書館の市民開放を広報するとともに、利用促進策を検討

◎地域の看護人材の供給

- ・同窓会と連携し卒業生への就業継続やキャリア開発に向けた相談、転職支援を実施
- ・地域の看護職者のニーズを把握し、社会人向けの人材育成にかかる講座等を実施
- ・市民病院群等の看護職者への聴講制度の実施
- ・臨床指導者研修会の開催による看護職者の教育能力の強化
- ・潜在看護師の復職に関する研修や本学認定の看護師スキルアッププログラムの構築に向けた調査

3. グローバルな視点を培う、国際交流の推進

◎外国人の受け入れ

- ・専門科目の外国人教員を非常勤、客員等で招聘、来日した外国人教員との交流
- ・海外の学部卒業生の大学院入学の可能性の検討

◎学生の異文化理解の推進

- ・「海外看護学研修」等学部、大学院科目を通じた学生の異文化理解の提供
- ・さくらサイエンスなどの機会を捉えた短期留学生との交流の検討

◎海外の大学との交流の推進

- ・姉妹都市・友好都市等や市の施策を活用し新たに提携できる大学を調査
- ・先駆的な研究を行う海外の教員を招聘し、講演会やセミナーを開催

第4 業務運営及び財務内容の改善

1. 効率的で機動的な組織運営体制を構築し、地域の発展に貢献する大学へ

◎効率的で機動的な組織運営体制の構築

- ・運営体制の定着に向け、意思決定の明確なフロー チャートを作成
- ・項目による自主チェックを行なえるよう監事と連携し内部監査の体系を構築

◎開かれた大学運営の推進

- ・外部有識者の意見を取り入れるとともに、地域の声の反映方法を検討

◎教育研究組織の見直し

- ・地域連携、国際交流、生涯学習を担う組織の設置に向けた運営体制等の検討

2. 優れた教職員の確保育成及び特性を生かす人事・組織制度の構築

◎多様な人材の確保と教職員の能力向上

- ・適切な教員採用と、特任教員・客員教員制度の確立

◎教育連携の推進

- ・単位互換制度の検証・見直し、近隣の看護系大学との連携に着手

◎外部人材の活用

- ・他大学の状況調査による特任教員・客員教員制度の確立
- ・JICA等との連携による外部人材の活用の検討

◎人事評価制度の再構築等

- ・教員の新たな人事評価制度の確立、給与や研究費への反映を検討
- ・多様な職種形態に応じた人事制度の検討

3. 教育環境の整備・充実

- ・シミュレーション教育の充実に向けた機器・ソフト等の計画的な整備、更新
- ・長期保全計画の策定
- ・ICTを活用したWEB授業、遠隔での実習指導などの検討

4. 自己点検・評価による質の改善、情報公開による透明性の確保

◎自己点検・評価体制の強化

- ・自己点検評価結果の組織・業務への反映
- ・学生授業評価結果の組織的な教育改善への活用方法を検討

◎情報公開及び情報管理

- ・法人情報、入試情報等様々な情報を積極的に公開
- ・セキュリティ対策基準に基づく情報資産等の適正な自己点検、監査

5. 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止

◎健康管理と安全対策

- ・定期的な安全点検の実施、教職員・学生の健康管理の推進
- ・防火・防災訓練の実施、計画的な備蓄、学生への安否確認メール訓練の実施

◎人権尊重

- ・学生へのリーフレット配付、相談窓口の周知
- ・倫理、コンプライアンス、ハラスメント防止研修の実施

6. 多様な自己収入の確保・充実と経費の適正化

◎外部資金の獲得

- ・科学研究費獲得に向けた説明会の実施、民間等競争的資金の情報収集・提供
- ・大型研究費助成金の獲得に向けた支援の検討

◎学生納付金等

- ・高等教育修学支援新制度、他大学の状況等を踏まえた検討
- ・学生の利便性に即した多様な納付方法の検討

◎多様な収入の確保

- ・学内施設の有償化、利用促進策の調査検討、公開講座受講料等の検討

◎業務の改善と経費の適正化

- ・学務システムの更新にあわせた教務事務の改善・見直し
- ・組織横断的な執行体制の確立に着手